



『日帰り手術について』 手術室 主任看護師 田口由佳

当院では、1日平均5～6件、年間約1,350件の手術を行っています。その内の約2割の方に日帰りでの手術を行っています。

手術は基本的には午後から開始となり、所要時間は約30分～1時間です。日帰りで行う手術には、外科では下肢の静脈瘤・皮下粉瘤手術、整形では巻き爪・ばね指などがあります。

日帰り手術での手術室入室から退室までの流れをご紹介します。

手術室では履物を専用のスリッパに変えていただき、歩いて入ります。事故防止のため、お名前(フルネーム)手術の部位などを患者様にお尋ねしたりして、手に付けて頂いたネームバンドと共に確認させていただきます。ご協力下さい。私服から、手術用の着衣に変えて、帽子をかぶっていただきます。手術室内では、自動血圧計を腕または足に巻き、定期的に血圧を測定します。時には、心電図のシールを張り、心電図をモニターします。また、体内の酸素の量を知るため、クリップのようなものを指先に挟みます。手術室では患者様の緊張をほぐしていただく為に音楽を流しています。不安軽減の為の一方法として音楽は効果的であり、特に患者様が聴きたい音楽を聴きたい音量と聴きたい音質で聴くと効果が上がると言われています。ご希望の曲・種類(CD持参でも可)があれば手術室看護師にお申し出下さい。手術が終わりましたら、外来看護師が迎えに参ります。手術後の注意点についてはその都度説明させていただきます。その他一つ一つお話しをさせていただきますながら進めていきます。

手術前はとても心細く、緊張し、多くの不安をお持ちのことと思います。私たち手術室看護師は、患者様が安全かつ安心して手術を受けていただけるよう常に気を配り、心を込めてケアさせていただきます。

ご不明な事やご心配な事がありましたら遠慮なくおっしゃってください。